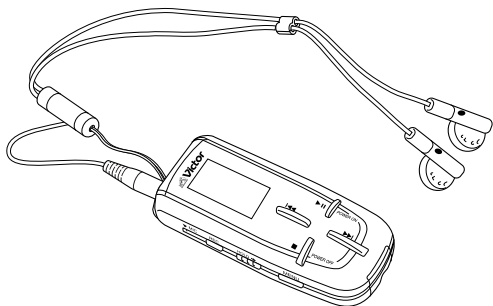
取扱説明書

デジタルオーディオプレーヤー

XA-S108-A/-P/-R/-S/-W
XA-S208-A/-P/-R/-S/-W

お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「**安全上のご注意**」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

製品のサポート情報、イベント情報などの提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT1781-001B
[DOM]

目次

■ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。「安全に正しくお使いいただくために」に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

危険 ：人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 ：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 ：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ **絵表示の例**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

本体について

⚠ 警告

■ 自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない

- 運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
- また、歩きながら（特に踏切や横断歩道など）使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 分解・改造しない

- 内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
- 点検や修理は販売店にご依頼ください。

■ 幼児、子供の手の届く場所に放置しない

- 誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

⚠ 注意

■ 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

・耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
・はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
音量は徐々に上げましょう。

■ 水をかけたりぬらしたりしない

・機器を水がかかる場所（風呂場や台所など）で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となります。

ネックストラップヘッドホンについて

⚠ 注意

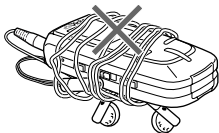
■ 調整用スライダーを頻繁に取りはずさない

・ネックストラップヘッドホンの長さ調整用スライダーは、安全のためネックストラップヘッドホンに大きい力が加わったときにはずれる構造となっています。頻繁に取りはずしを行うとスライダーの取りつけ強度が弱くなりますので、取りはずさずにご使用ください。

■ 落下の恐れがある行為は避ける

・激しい動きをしたり、本機以外をつり下げないでください。落下する恐れがあります。つり下げた機器などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本体に巻きつけない

・ コードが断線し、音が聞こえなくなるなどの不具合が発生することがあります。

使用上のご注意

■ 本体の置き場所について
次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となります。
・ 窓を閉めきった自動車の中（とくに夏期）
・ 風呂場など湿気の多いところ
・ ホコリの多いところ
・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
・ 腐食性のガスなどが発生するところ

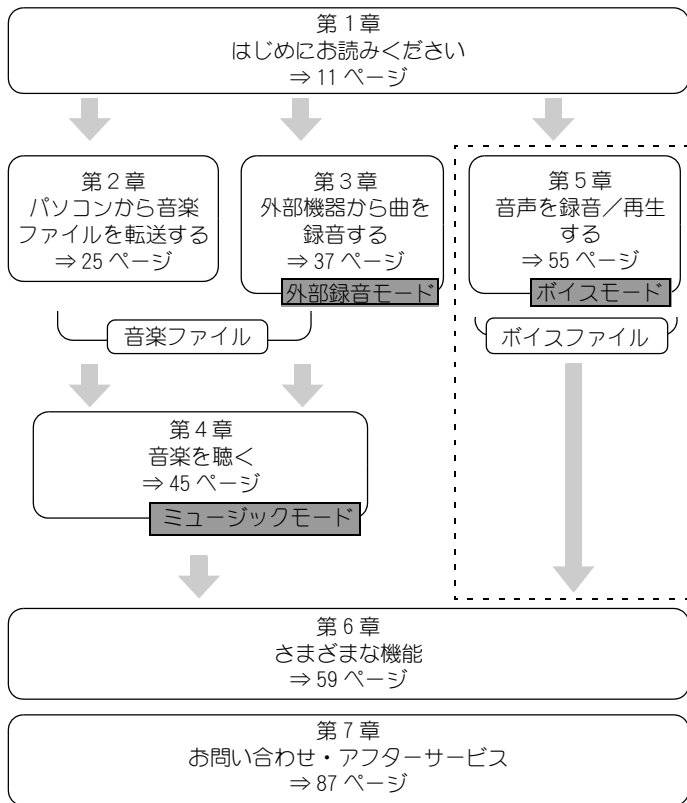
■ 航空機の中では電源を入れないでください
機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。機内では必ず電源を切っておいてください。

■ 落としたり強い衝撃を加えないでください
破損や故障の原因になることがあります。

■ 汗や水に濡れた手で操作しないでください
感電や電子回路のショート、腐食の原因となります。身につけて使用する場合、汗などの水分が内部に入らないようにしてください。

■ 雷が鳴り出したら電源を切り、ヘッドホンをはずし、使用しないでください
感電の原因になります。

本書の読みかた

本書をより活用していただくために、本書の読みかたをご紹介します。
本書は以下の構成になっています。

第１章　はじめに
お読みください

1-1. XA-S108/S208 のご紹介

このたびは、『XA-S108/S208』（以降、『本機』と記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は手軽に音楽を楽しむことのできるデジタルオーディオプレーヤーです。
本書は、初めてデジタルオーディオプレーヤーをご使用される方にも安心して操作を進めていただけるような構成になっています。
本機をご使用になる前に、必ず本書をお読みいただき、また読んだあとも本書をお手元に置いて、いつでも活用できるようにしてください。

本機を使用するうえでのご注意

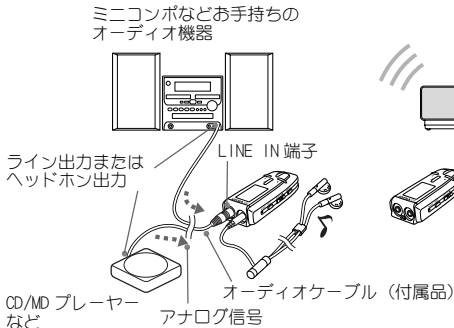
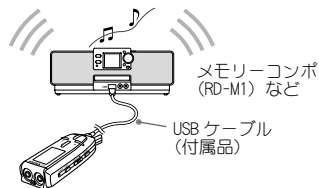
- パソコンに接続するときは、本機の電源を切っておいてください。
  パソコンに接続すると自動的に電源が入ります。
- 本機は 50 フォルダ、8 階層、550 ファイルまで取り扱うことができます。（音楽ファイルの表示や操作が可能）
  これを超えるとデジタルオーディオプレーヤーとしての動作保証ができなくなりますのでご注意ください。

主な特長

● パソコンを使わずに手軽に曲を録音！（ダイレクトレコーディング）

ミニコンポやラジカセなどのお手持ちのオーディオ機器と本機を直接接続して音楽を録音できます。
くわしくは、「第 3 章 外部機器から曲を録音する （ダイレクトレコーディング）」（→ 37 ページ）をご覧ください。

● メモリーコンポと連携すれば便利さアップ！

本機とメモリーコンポ（別売品：UX-GM50、UX-GM70、RD-M1 等）を USB 接続して再生すれば、スピーカーで高音質なサウンドが楽しめます。また、パソコンがなくてもメモリーコンポに CD を録り貯めることができ、聞きたい曲だけ本機にスピード転送できます。本機の充電もできます。

● 音声をメモ！（ボイスレコーディング機能を搭載）

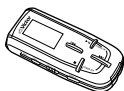
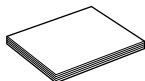
ふと思いついたことや大切な用件を音声で残しておくなど、様々なシーンで活用できます。

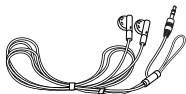
● さまざまな音楽フォーマットに対応！（MP3/WMA/WMA-DRM）

MP3 および WMA の 2 つのフォーマットに対応。また、デジタル著作権管理技術に対応した WMA-DRM も再生できます。

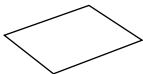
1-2. 箱の中身を確認する

お使いになる前に付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

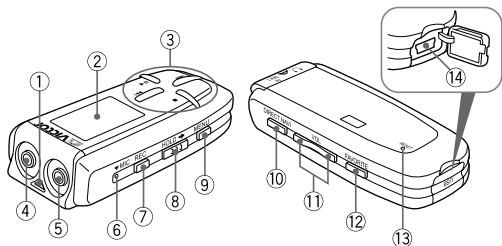
● 本機

● 取扱説明書（本書）

● イヤーパッド

● ネックストラップヘッドホン

● USB ケーブル

● オーディオケーブル

● デジタルオーディオプレーヤー
クイックガイド

1-3. 各部の名前とはたらき

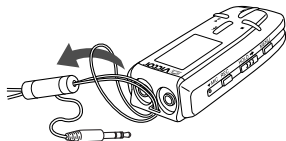
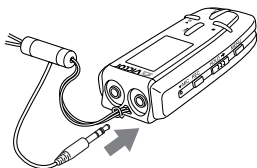
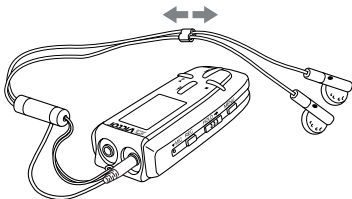
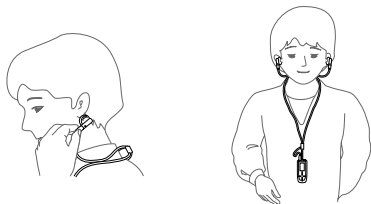
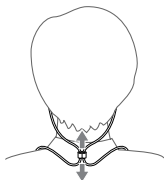
本体

各部の名前は次のとおりです。

① ストラップ取り付け穴
② ディスプレイ
③ ►/❚❚ POWER ON（再生 / 一時停止 / 電源オン）ボタン
   ❙◄◄（早戻し）ボタン
   ►►❙（早送り）ボタン
   ■ POWER OFF（停止 / 電源オフ）ボタン
④ LINE IN 端子
⑤ ヘッドホン端子
⑥ 内蔵マイク
⑦ REC ボタン
⑧ HOLD スイッチ
⑨ MENU ボタン
⑩ DIRECT NAVI ボタン
⑪ VOL+/-（ボリューム）ボタン
⑫ FAVORITE ボタン
⑬ RESET（リセット）スイッチ
⑭ USB 端子

ネックストラップヘッドホンの取り付けかた

本機で音楽を聴くには、ネックストラップとヘッドホンが一体化したネックストラップヘッドホンを使用します。本機を首にかけて携帯するので、コードを意識する必要がなく、軽快な装着感で音楽を聴くことができます。

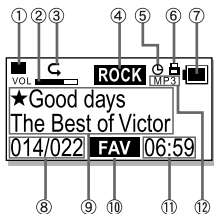
1. 付属品のストラップを本機の穴に通します。

※ストラップが穴に通しづらいときは、先の細いとがったものなどを使って通してください。

2. ネックストラップヘッドホンのヘッドホンプラグを本機のヘッドホン端子に差し込みます。

3. ネックストラップヘッドホンのスライダーの位置を調整して、首が入る長さの輪を作ります。

4. ネックストラップヘッドホンを首にかけ、首の後ろから両耳へイヤフォンを装着します。お好みに応じて付属のイヤーパッドを装着してください。

お好みに応じてスライダーの位置を調整してください。

お知らせ

- 手順にしたがってネックストラップヘッドホンを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりネックストラップヘッドホンが外れて本機を落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。
- ネックストラップヘッドホンの長さ調整用スライダーは上下に動きますので、使用時に首を絞めないようご注意ください。
- 長さ調整用スライダーは、安全のためネックストラップヘッドホンに大きい力が加わったときにはずれる構造となっています。頻繁に取りはずしを行うとスライダーの取り付け強度が弱くなりますので、取りはずさずにご使用ください。
- ネックストラップヘッドホンに過大な力が加わった場合、ネックストラップヘッドホンが破損することがあります。
- ネックストラップヘッドホンは保管状況により曲がりぐせを生じることがあります。

ディスプレイ

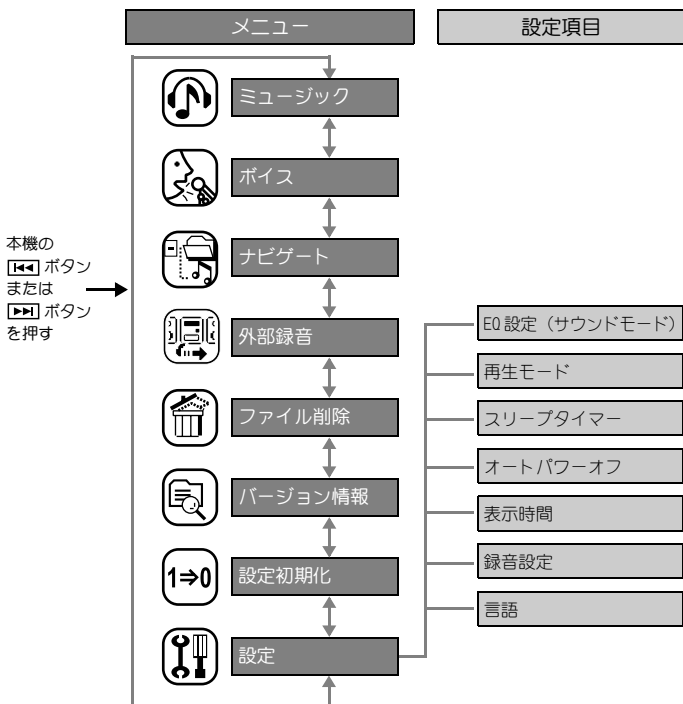
【再生中のディスプレイ表示】
再生中のディスプレイ表示は次のようになります。

ミュージックモード / ボイスモード

① 再生状態インジケーター
② ボリュームレベル
③ 再生モードインジケーター
④ EQ（サウンドモード）（※ 1）
⑤ スリープタイマーアイコン
⑥ ロックアイコン
⑦ バッテリーインジケーター
⑧ 曲番号 / 全収録曲数
⑨ ファイル名（※ 2）
⑩ お気に入りモードアイコン
⑪ 曲再生時間
⑫ モードインジケーター

※ 1： NORMAL モード選択時には表示されません。
※ 2： 上下の欄の表示内容が共に長い時は、 1 行目をスクロールしてから 2 行目をスクロールします。
お気に入りに登録した曲は★が表示されます。

【メニュー表示】
本体の MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。
メニューには次のモードがあります。
【画面例】

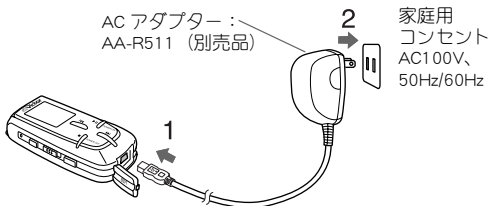
→
→
モード	内　容
ミュージック	曲を再生します。(→ 46 ページ)
ボイス	音声を録音・再生します。 (→ 56 ページ)
ナビゲート	音楽ファイルとそれを収納しているフォルダの階層をツリー形式で表示します。 聞きたい音楽ファイルを検索し再生できます。(→ 48 ページ)
外部録音	外部機器から曲を録音（MP3 形式）します。(→ 38 ページ)
ファイル削除	音楽ファイルを削除します。(→ 80 ページ)
バージョン情報	本機のバージョン情報などを表示します。(→ 82 ページ)
1⇒0 設定初期化	「設定モード」で設定した内容を初期化します。(→ 83 ページ)
設定	本機の各種設定を行います。 (→ 60 ページ)

メニューと設定モードでは、次の設定項目が表示されます。

お知らせ

- メニューは、本機の ⏮ または ⏭ ボタンを押して切り替えます。
- 設定のしかたについては、各設定項目の説明のページをご覧ください。

1-4. 充電する

初めて使うときや充電池が消耗したときは、本機を充電してください。
本機を充電するには、以下の 2 通りの方法があります。

①別売りの AC アダプター（AA-R511）を使用して充電する

1. **AC アダプターの USB プラグを本機の USB 端子に接続します。**

2. **AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。**

⇒本機の表示窓にバッテリーインジケーターが表示され、充電が始まります。
充電中は →→→ という表示を繰り返します。
充電が完了すると と表示されます。

お知らせ

- 充電池残量がない状態から充電したときの充電完了時間の目安は、約 2.5 時間です。充電時間は充電池残量や本機の使用状況により異なります。通常は 1 時間で約 9 割の充電が可能です。
- AC アダプターでの充電中は、音楽ファイルの転送以外の全ての機能（外部録音モード、ミュージックモード、ボイスモードなど）が使用できません。
- 電池は約 500 回充電できます。
- 初めて充電するときや長時間使用しなかったときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か充電と再生を繰り返すと正常に戻ります。
- 電源が入った状態で AC アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。

②パソコンに USB 接続して充電する

パソコンの電源を入れて、USB ケーブルで本機とパソコンの USB ポートを接続します（29 ページ「パソコンに接続する」参照）。

⇒本機の表示窓にバッテリーインジケーターが表示され、充電が始まります。
充電中は →→→ という表示を繰り返します。
充電が完了すると と表示されます。

お知らせ

- デスクトップパソコンに接続して充電する場合は、電源オン（スタンバイ以外の状態）で充電してください。
- ノートパソコンに接続して充電する場合は、パソコンにACアダプターを接続して、電源オン状態で充電してください。
- **多くのノートパソコンは、工場出荷時に省エネモードに設定されています。お使いのパソコンの電源設定によっては、充電中にパソコンをしばらく放置したり、ノートパソコンのモニターを閉めると、スタンバイ、休止モードになることがあります。**
このような場合も本機は充電されません。パソコンの電源設定を変更してください。パソコンのスタンバイ、休止モードについてはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB 接続での充電中は本機を操作することはできません。
- 充電は周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の所で行ってください。

内蔵充電池の取り扱いについての注意

- 内蔵充電池の交換は販売店やビクターサービス窓口にご依頼ください（別紙「ビクターサービス窓口案内」参照）。目安として、フル充電後の再生可能時間が半減したら交換が必要です。
- 長時間本機を使用しないときは、内蔵充電池の性能劣化を防ぐため、月に 1 回以上は充電してください。

バッテリーインジケーターについて

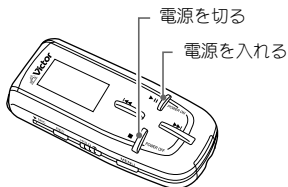
バッテリーインジケーターは電池の残量を示します。黒い目盛りが少なくなるほど充電池残量が減っています。残量が少なくなると下記のように表示されます。その場合は充電してください。

バッテリーが ありません	Low Battery Shut Down ...

お知らせ

ダイレクトレコーディングで「バッテリーがありません」と表示し停止した状態の充電池でも、再生には多少使えます（→ 43 ページ）。

1-5. 電源を入れる

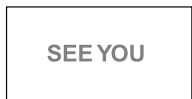
電源を入れる、電源を切る

● 電源を入れる

ディスプレイに「Welcome!」が表示されるまで、本機の [▶ II] ボタンを押し続けます。
しばらくするとディスプレイに以下のように表示されます。

DIGITAL
AUDIO
PLAYER

● 電源を切る

本機の [■] ボタンを押し続けます。
ディスプレイに以下のように表示され、電源が切れます。

SEE YOU

お知らせ

- 本機に電源を入れると、最後に電源を切ったときのモードで再開します。
- 本機で行った各種設定は電源を切るときに記録されます。設定値を変更したときは一度電源を切り、設定内容を記録してください。
- 動作状態によっては電源が切れないことがあります。ミュージックモードやメニュー画面で電源を切ってください。

第２章　パソコンから音楽ファイルを転送する

2-1. ご使用になる前に

● ご使用になる前のお知らせ

＊本製品で記録したものを「私的な目的」以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
＊何らかの不具合により、正常に録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
＊大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをおすすめいたします。

● 音楽を聴くための準備

音楽を聴くためには、音楽ファイルの作成が必要です。
音楽ファイルの作成方法は、大きく分けて次の2通りあります。
いずれかの方法で、音楽ファイルを準備してください。

1.ミニコンポやラジカセなどの外部オーディオ機器からの曲を直接本機に録音する方法（ダイレクトレコーディング）

ダイレクトレコーディングについては、第 3 章「外部機器から曲を録音する （ダイレクトレコーディング)」（→ 37 ページ）をご覧ください。

2.お手持ちのCDなどの曲をパソコン上に取り込み、本機へ転送する方法

転送方法については、「2-2. 音楽ファイルを転送する」（→ 29 ページ）をご覧ください。

お知らせ

CDからパソコンへの音楽の取り込みかたについては、同梱の『デジタルオーディオプレーヤー クイックガイド』をご覧ください。

ビットレートの設定について

デジタルオーディオは取り込み時に信号を圧縮できるため、本機で多くの楽曲を収録することができます。

※ WMA 1曲4分　ステレオ時の目安です

容量（型番）／ビットレート	1GB XA-S108	2GB XA-S208
128kbps	250曲	500曲
非圧縮	24曲	48曲

ビットレートを高くすると高音質になりますが、データが大きくなるため収録曲数が減ります。

ビットレートを低くすると収録曲数は増えますが、本機が取り扱えるファイル数の上限は550ファイルまでです。

● 音楽データの取り込みについて

- 音楽CDをパソコンに取り込むときは、パソコン上で各種の設定をします。くわしくは、同梱の『デジタルオーディオプレーヤー クイックガイド』の4ページまたは12ページをご覧ください。
- 外部機器から直接録音（ダイレクトレコーディング）をするときは、本機の「設定モード」で設定します。くわしくは「録音設定をする」（→75ページ）をご覧ください。

お使いのパソコン動作環境を確認する

お使いのパソコン動作環境を確認してください。

● 本機を動作する上で必要なパソコンのシステム構成

OS	Microsoft Windows Me/2000/XP/Vista
CPU	Pentium II 233 MHz 以上
メモリ	64MB 以上
HDD	100MB 以上の空き容量 (音楽ファイルを保存するにはより大容量が必要です。)
その他	・CD-ROM ドライブ (CD から楽曲を取り込む場合) ・USB ポート ・Windows Media Player 9/10/11

※上記環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

ソフトウェアのバージョンについてのご注意

- WindowsMe/2000/XP/Vista が動作する環境をご用意ください。
  Windows98SE 以前のバージョンの Windows では、動作保証ができません。
- Windows Media Player はバージョン 9/10/11 をご用意ください。
  バージョンが 8 以前の Windows Media Player では、動作保証ができません。

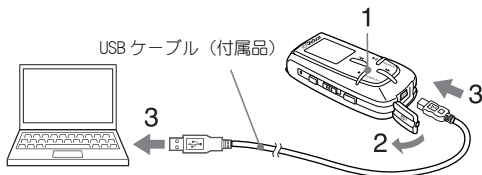
お知らせ

パソコンの Windows の確認方法は、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] または、[スタート] → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム] を参照してください。

2-2. 音楽ファイルを転送する

パソコンに接続して、音楽ファイルを本機に転送します。

パソコンに接続する

パソコンの USB ポートと接続します。（USB2.0/1.1 対応）

1. <u>**本機の電源が切れていることを確認します。**</u>

（ ■ ボタンを押し続けて電源を切ります。）

2. **本機の USB 端子のカバーを開きます。**

3. **付属の USB ケーブルで本機とパソコンの USB ポートを接続します。**

⇒本機の表示窓に「USB Connected」が表示され、接続が完了します。

※USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は、保証しません。

※ USB ドライバーなどのインストールは必要ありません。

音楽ファイルを転送する

MP3 や WMA 形式の音楽ファイルをパソコンから本機へ転送します。

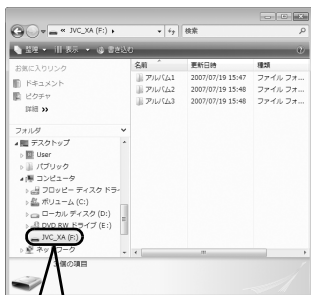
お知らせ

- WMA-DRM などのファイル（ダウンロードしたファイル等）を転送する場合は、Windows Media Player を利用してください。Windows Media Player を利用した転送方法については、同梱の『デジタルオーディオプレーヤー クイックガイド』をご覧ください。
- 一般的な MP3 ファイルや WMA ファイルを転送する場合は、エクスプローラを利用します。

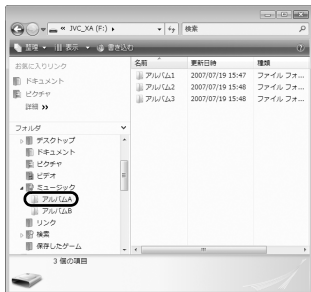
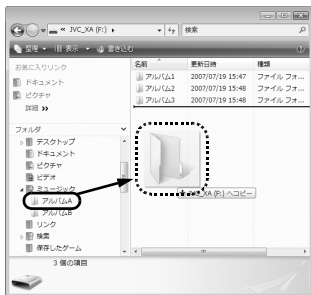
例として、ここでは「My Music」にある音楽ファイルの転送手順について、エクスプローラを用いて説明します。

1. パソコン上でエクスプローラを起動します。

（キーボードの ⊞（Windows キー）を押しながら「E」キーを押します。または［スタート］を右クリック→［エクスプローラ］をクリックします。）

2. 本機を示すドライブを左クリックします。
（ここでは、一例として JVC_XA(F:)）

※ 画面は、Windows Vista での例です。(OS によって異なります。)

Windows のバージョン（Me/2000/XP/Vista）によって、本機を示すドライブの表示が異なります。「JVC_XA(F:)」は WindowsXP/Vista での表示例です。他のバージョンでは「リムーバブルディスク（F:)」と表示されることもあります。
また、末尾の「(F:)」もお使いのパソコンの環境により異なってきます。

3. 転送したい音楽ファイルやフォルダを左クリックしたままにします。

4. 左クリックしたまま、本機の内容を示す右側のウィンドウにドラッグしドロップします。

ファイル転送中は本機の表示窓に「WRITING」と表示されます。
「USB Connected」が表示されると転送は完了します。
転送が完了したら、パソコンから本機を取り外します。(→ 33 ページ)

【ヒント】
パソコン上でアーティスト名、アルバム名の各フォルダを作成し音楽ファイルを適宜フォルダに保存し、フォルダ単位でコピーを行うと、本機での曲検索が便利です。

お知らせ

- WMA-DRM ファイル（楽曲サイトからダウンロードしたファイルなど）はエクスプローラを用いて転送をすると再生できません。Windows Media Player9、10、または 11 を利用して転送してください。
- エクスプローラの詳細については、Windows エクスプローラのヘルプをご参照ください。
- 本機は USB メモリとしても使用できますので、音楽以外のファイルもコピーできます。

パソコンから取り外すとき

本機をパソコンから取り外すときは、次の手順で取り外してください。

1. タスクトレイの［ ハードウェアの安全な取り外し ］アイコンを左クリックし、画面の指示にしたがって、パソコンから本機を取り外します。

（画面例）

2. 本機から USB ケーブルを取り外します。

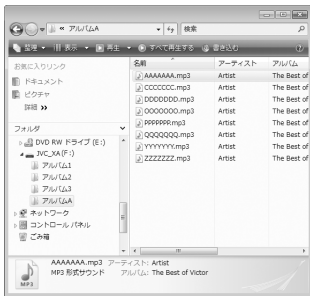
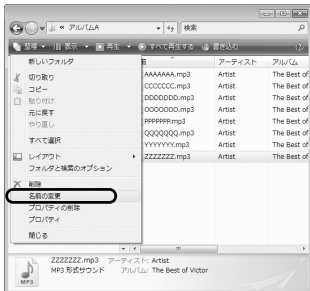
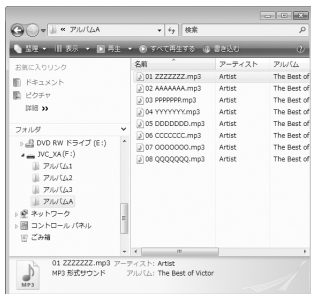
3. USB カバーを閉じます。

2-3. 音楽ファイルの再生順序を変更するには

音楽ファイルは JIS コード順(おおむねアルファベット順)に再生されます。本機には再生順序を変更する機能はありません。音楽ファイルの転送後、再生順序が変わってしまったときなどは、パソコンを使って音楽ファイル名の先頭に、半角入力で「01」、「02」などの数字を付加した名前に変更すると再生順序を変更できます。

1. 本機とパソコンを接続します。
(接続のしかたは、29 ページをご覧ください。)

2. パソコン上のエクスプローラを起動します。

3. 本機を示すドライブを左クリックし、転送された内容を参照します。(ここでは、一例として JVC_XA(F:))

4. 変更したい音楽ファイルを選択し、[ファイル] メニューから [名前の変更] を選択します。

5. 曲名の先頭に半角入力で「01 ZZZZZZZ」、「02 AAAAAAA」などの数字を付加し、ファイル名を変更します。

お知らせ

- 数字を付加するときは、必ず半角で入力してください。全角で入力すると曲名として認識され、正しい順序で再生できません。
- 再生される曲の順序は「ナビゲートモード」で確認できます。
  ナビゲートモードについては、「4-2. 音楽ファイルを選んで再生する（ダイレクトナビ）」（→ 48 ページ）をご覧ください。
- CD からパソコンに曲を取り込むときに自動的にトラック番号を「01」、「02」とつけることができます。くわしくは、同梱の『デジタルオーディオプレーヤー クイックガイド』の 4 ページまたは 12 ページの「ヒント」をご参照ください。
- 数字を付加するときは必ず半角入力で「01」、「02」･･･「09」、「10」、「11」･･･などとし、数字の桁数を合わせてください（ここでは例として 2 桁にしています）。「1」、「2」･･･とすると、曲数が 10 曲以上あるアルバムなどでは正しい順序で再生できません。

Microsoft Windows Media Player 9 で本機に転送する場合のご注意

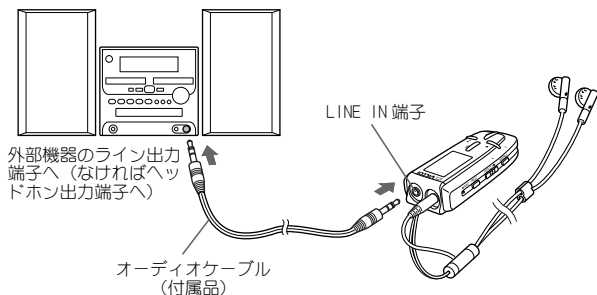
- 転送後、音楽ファイルは本機上でJIS コード順(おおむねアルファベット順) に並べ替えられ、曲順が変わります。曲順を変更するときは「2-3. 音楽ファイルの再生順序を変更するには」(→ 34 ページ) をご覧ください。
- 一般にエクスプローラでドラッグ&ドロップで転送すると曲順は転送後も変わりません。
- Windows Media Player9 では、指定したフォルダの下に階層を作らずに転送されます。必要に応じてアーティスト名、アルバム名などのフォルダを作成し、ファイルを管理するようにしてください。
- エクスプローラの詳細については、Windows エクスプローラのヘルプをご参照ください。

第 3 章　外部機器から曲を録音する（ダイレクトレコーディング）

3-1. 外部機器から曲を録音する

ミニコンポやラジカセなどの外部オーディオ機器で再生した曲を本機で直接、録音できます。これを「ダイレクトレコーディング」と呼びます。パソコンを使わずに、手軽に曲を録音できます。

外部機器と接続する

本機のLINE IN 端子と外部機器のライン出力端子を、付属のオーディオケーブルで接続します。
外部機器にライン出力端子がない場合は、ヘッドホン端子で代用します。

外部機器の出力レベルを調節する

- ヘッドホン端子から録音する場合、録音レベルは外部機器側の音量を変えることにより調節します。以下の要領であらかじめ試し録音をし、適正な録音レベルに調節してください。
- ライン出力端子から録音する場合は、レベル調節は必要ありません。「曲を録音する（ダイレクトレコーディング）」手順 4（→ 39 ページ）へ進みます。

1. 本機にヘッドホンを差し込みます。
（ヘッドホンにて外部機器側の音量を確認できます。）

2. 外部機器側の音質設定（イコライザー、サラウンド、低音増強機能など）をオフ（フラット）にします。

外部機器で設定した音質でそのまま録音されるので、本機での再生時にイコライザー（サウンドモード）を設定していると二重に音質が補正され、不自然な音質になります。

※外部機器の音質設定については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

3. 外部機器側の音量を調節します。普段お使いの音量より充分大きめに設定します。

曲を録音する（ダイレクトレコーディング）

4. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

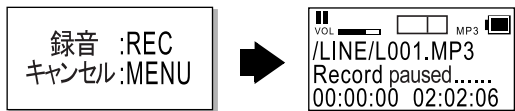
5. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、外部録音（ ）を選択します。

6. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

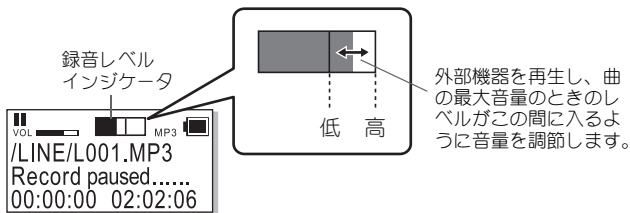
7. 「Record paused....」と表示されるまで、REC ボタンを押しつづけます。

キャンセルする場合は MENU ボタンを押します。

録音　:REC
キャンセル:MENU

VOL MP3
/LINE/L001.MP3
Record paused......
00:00:00 02:02:06

⇒録音待機状態（カウンターが停止）になり、「Record paused....」と表示されます。

8. **録音レベルインジケータで録音レベルを確認します。(ラインン出力端子から録音する場合は必要ありません)**

外部機器のヘッドホン端子から録音する場合は、次の点に注意してください。

音量を調節したら、外部機器の再生を停止します。

9. **[▶ II] ボタンを押します。**

⇒「Recording......」と表示されます。(外部機器を再生するまで録音は始まりません。)

10. **外部機器でミュージックソースを再生します。**

⇒音を自動検出して録音が始まります。

11. **曲が終わったら [■] ボタンを押して、録音を停止します。**

12. **MENU ボタンを押します。**

⇒メニューに戻ります。

録音した音楽ファイルについて

● 録音した音楽ファイルを確認する

録音した音楽ファイルは、本機の「LINE」フォルダに MP3 形式で保存されます。A.TRK（オートトラック）の設定が ON のときは、ファイル名は、録音した順番に「L001.MP3」、「L002.MP3」、「L003.MP3」、…と自動的に付けられます。（「LINE」フォルダは、ダイレクトレコーディング時に自動的に作成されます。）
「LINE」フォルダを表示するには、再生時にナビゲート機能を利用します。ナビゲート機能については、「4-2. 音楽ファイルを選んで再生する（ダイレクトナビ）」（→ 48 ページ）をご覧ください。

● ファイル名とファイル数の上限について

ダイレクトレコーディングした音楽ファイルのファイル名は、録音した順番に「L001.MP3」、「L002.MP3」、「L003.MP3」、…と自動的に付けられますが、本機の認識ファイル名の上限が「L999.MP3」となっているため、このファイル名が録音されるとそれ以上録音することはできません。
本機はこの「L999.MP3」というファイル名の有無で録音ファイルの上限を管理しているため、「L999.MP3」というファイルが存在するとメモリに空きがあっても「FULL FILE」と表示され、それ以上の録音はできなくなります。
同様に、ボイスレコーディングした音楽ファイルが取り扱い可能なファイル数の上限の 550 を超えた場合も、「FULL FILE」と表示されます。

【「FULL FILE」と表示された場合には】
使用頻度の低い音楽ファイルを（必要に応じてパソコンへコピー後に）削除するか、USB 接続したパソコン側から音楽ファイルのファイル名を実際の曲名などに変更してください。

・録音した音楽ファイルをパソコンへコピーするには、42 ページを参照してください。
・音楽ファイルのファイル名を変更するには、「2-3. 音楽ファイルの再生順序を変更するには」（→ 34 ページ）を参照してください。

● 曲名の管理について

録音した曲を削除しても、その後に録音されているL*** という曲名は繰り上がりません。L001、L002 などは「曲順」ではなくその曲に割り当てられた「曲名」として扱われます。例えば L004 を削除した後、L005 の曲名が L004 に繰り上がることはありません。この場合 L003 の次の曲が L005 となります。

・本機では曲名が L999 まで振られると、メモリ容量に空きがあっても、ダイレクトレコーディングができなくなります。この場合は、USB 接続したパソコン側からL***の部分を別のファイル名に変更してください。

● 録音した音楽ファイルをパソコンへコピーする

外部機器から録音した音楽ファイルは、USB ケーブルで接続したパソコンへコピーすることができます。

1. パソコン上でエクスプローラを起動します。
（→ 30 ページ　手順 1）

2. 本機を示すドライブ（一例として「JVC_XA(F:)」→ 31 ページ　手順 2）を選び、「LINE」フォルダ内からコピーする音楽ファイルをクリックし、パソコンの任意の場所へドラッグ＆ドロップします。

お知らせ

・外部機器の音量を上げたときは、本機での録音が終わりましたら音量を適正値まで下げてください。思わぬ大きな音量で人体や機器に悪影響を及ぼす恐れがあります。
外部機器のライン出力端子から録音する場合は、出力レベル、音質ともに固定されるので外部機器側でのレベル調節は必要ありません。

・ALC（オートレベルコントロール）について
本機のダイレクトレコーディング回路には録音レベルを自動調節する機能はついておりませんが、録音時のひずみ（音割れ）をおさえるための ALC（オートレベルコントロール）機能がついております。
外部の再生機器からの出力レベルが大きすぎるときに ALC 機能が自動的に働き、録音レベルを抑えてひずみを減らすことができます。

・ダイレクトレコーディング時の充電池使用可能時間について
CD アルバムを全曲録音するなど長時間連続で録音する場合、途中で充電池容量が不足して停止（「バッテリーがありません」が表示）することがあります。ダイレクトレコーディングは多くの電力を消費しますので、他のモードに比べ早めに停止するようになっております。長時間連続録音するときはなるべく完全に充電した状態でご使用ください。
  ・ダイレクトレコーディングで「バッテリーがありません」と表示し停止した状態の充電池でも、再生には多少使えます。
  ・「バッテリーがありません」の表示は、ダイレクトレコーディングにて電池が録音可能な容量でなくなったときに約 5 秒間表示されます。
  ・ダイレクトレコーディング時の電池寿命は、ビットレートが 128kbps のとき、完全に充電された状態で約 6 時間です。（ご使用の条件により異なります。）
  ・別売りの AC アダプター「AA-R511」を使用すると長時間録音が可能になります。

・ビットレートと A.TRK について
録音時、ビットレートと A.TRK（オートトラック）を設定することができます。くわしくは、「録音設定をする」(→ 75 ページ)をご覧ください。

・録音中はディスプレイの明るさが落ちます。

【ヒント】

・正しい曲名を表示させるには
ダイレクトレコーディングをした場合、曲名は自動的にL001, L002, ・・・と入力され、正しい曲名は表示されません。パソコンを使用すると曲名を変更することができます。本機をパソコンにつなぎ、パソコン側から本機の「LINE」フォルダを開き、対象となる音楽ファイルを選択し、[ファイル] メニューから [名前の変更] を選択することで曲名を変更できます。そのときに曲名の先頭に 01,02…といったように曲順を振っておくと、曲順は録音した順のままで変わりません。(数字を振らないと曲順はアルファベット順になってしまいます→ 34 ページ)

・ダイレクトレコーディングの上書きについて
CD1 枚 10 曲をダイレクトレコーディングした後、2 枚目の CD を録音すると、上書きはされません。この場合 2 枚目の CD の 1 曲めは本機上では 11 曲目として認識されます。

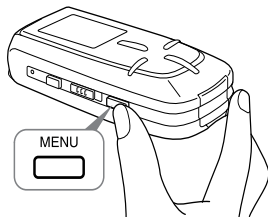
・ライン出力端子とヘッドホン出力端子の違いについて
ライン出力端子は別の機器のLINE-IN端子につないでアナログ信号を伝送するための出力端子です。ヘッドホン出力端子は本来ヘッドホンをつなぐための端子で、出力レベルがライン出力端子とは全く違います。したがって、ヘッドホン端子を使用してダイレクトレコーディングをするときは、<u>必ずレベル調節が必要となります。</u>

第４章　音楽を聴く

4-1. 音楽ファイルを再生する

音楽ファイルを再生して聴くことができます。
音楽を聴く前に、ボリューム +/ −ボタンでボリュームを調整してください。

再生するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、ミュージックモード（🎧）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒音楽再生画面が表示されます。

4. 再度、[▶ II] ボタンを押します。

⇒曲の再生が始まります。

● 停止するには

再生中に、[■] ボタンを押します。

● 一時停止するには

再生中に [▶II] ボタンを押します。

● 曲を選択するには

再生中または停止中に、[I◀◀] または [▶▶I] ボタンを押します。

● 早戻し、早送りするには

再生中、[I◀◀] または [▶▶I] ボタンを押し続けます。

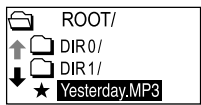
お知らせ

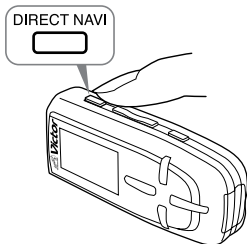
- 音楽ファイルは JIS コード順（おおむねアルファベット順）に再生されます。再生順序を変えるには、「2-3. 音楽ファイルの再生順序を変更するには」（→ 34 ページ）をご覧ください。
- 音楽ファイルが保存されていない場合は、「ファイルがありません」と表示されます。
- 本機を操作しない状態が約 10 秒間続くと、メニューモードはメニューを表示する前の表示に戻ります。
- 再生時に、ドラッグ＆ドロップ転送された WMA-DRM ファイルを再生しようとすると以下の画面が表示され、次の曲にスキップします。

DRM
PROTECTED

- 表示言語には、ID3 タグ（バージョン 1.0/ 1.1、バージョン 2.3）、WMA タグが表示可能です。ID3 タグ、WMA タグとは MP 3、WMA ファイルに記録される、曲名・アーティスト名などのデータのことです。

4-2. 音楽ファイルを選んで再生する（ダイレクトナビ）

ナビゲートモードを使用して、再生したい曲を選べます。ナビゲートモードでは、音楽ファイルとそれを格納しているフォルダの階層をツリー形式で表示します。

音楽ファイルを選んで再生するには

1. 電源が入った状態で本機上面の DIRECT NAVI ボタンを押します。

⇒ナビゲートモードの画面が表示されます。

2. ［|◀◀］または［▶▶|］ボタン、［▶ ||］ボタン、［■］ボタンを押し、目的の音楽ファイルを検索します。

各ボタンの動作内容は次のとおりです。

操作ボタン	動作内容
⏮ ⏭	カーソルが縦方向に移動します。選択したフォルダ内の各ファイル、または各フォルダ間をスクロールします。
▶ II	目的のフォルダにカーソルを移動し、▶ IIボタンを押すとフォルダ内が表示され、フォルダ内の曲を選択できます。
■	カーソルがフォルダ内の曲にあるとき、■ボタンを押すとフォルダが閉じてフォルダがある階層が表示されます。

3. 目的のファイルにカーソルを移動したら ▶ II ボタンを押し、再生します。

● ナビゲートモードを途中で終了したい場合は、本機の MENU ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

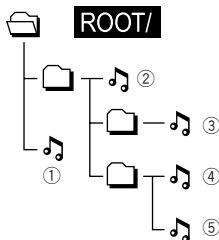
お知らせ

・ナビゲートモードにて Windows Media Player の転送モード以外で転送された WMA-DRM ファイルを検索すると、曲名表示はされますが、再生しようとすると以下の画面が表示され、その後次の曲にスキップします。

DRM
PROTECTED

・メニューからナビゲート（ ）を選択することでも、同様の選曲操作ができます。

ミュージックモードでの再生順序について

ミュージックモードで通常の再生をした場合、再生される順序は次の図のように上位階層から下位階層の順序になります。

お知らせ

- フォルダは最大 50 個まで作成できます。
- Windows Media Player 10 または 11 を使用して音楽ファイルを作成し本機に転送すると、ファイル管理のためアーティスト名、アルバム名などがついた複数のフォルダが作成されます。メモリ残容量に余裕があっても、フォルダ数が 50 個を超えるとフォルダ数制限により、音楽ファイルを正常に認識できなくなりますのでご注意ください。
- フォルダの階層は最上位階層（ROOT）のフォルダを 1 とすると 8 階層まで認識できます。8 階層を超えるとファイルを正常に認識できません。
- 本機に転送した際に曲順が入れ替わってしまうときは、パソコン側で「01xxx」「02xxx」というようにファイル名の先頭に半角入力で数字をつけてください。再生順序を変更するには、「2-3. 音楽ファイルの再生順序を変更するには」（→ 34 ページ）をご覧ください。
- 本機で取り扱うことが可能なファイル（表示や操作が可能な WMA、MP3 ファイル）は合計で 550 ファイルです。これを超えるファイル数についてはデジタルオーディオプレーヤーとしての動作保証はできません。
- フォルダ数を減らす方法については、ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp）から製品 Q&A のページをご参照ください。

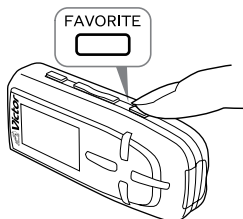
4-3. お気に入りの曲を登録して聞く（FAVORITE）

本機に収録した曲の中から、好きな曲をお気に入りに登録しておくことができます。よく聞く曲などを登録しておくと、選曲しやすくなります。

曲を登録する・登録を解除する

● 再生中の曲を登録する

1. 登録したい音楽ファイルを再生します。（「4-1. 音楽ファイルを再生する」(→ 46 ページ)、「4-2. 音楽ファイルを選んで再生する（ダイレクトナビ）」(→ 48 ページ)）

2. FAVORITE ボタンを押します。

⇒ファイル名の前に★が表示され、登録されます。

登録を解除するには、登録済の音楽ファイルの再生中にもう一度 FAVORITE ボタンを押します。
⇒「DELETE?」画面が表示されます。

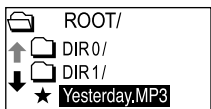
DELETE?
Menu:Cancel Play:sure

[►II] を押します。
⇒ファイル名の前の★が消えます。

3. 電源を切ります。
⇒設定した内容が記録されます。

● ナビゲートモード（ダイレクトナビ）で登録する

1. ナビゲート画面で、登録したい音楽ファイルを選択します。（「4-2. 音楽ファイルを選んで再生する（ダイレクトナビ）」（→ 48 ページ））

2. FAVORITE ボタンを押します。
⇒ファイル名の前に★が表示され、登録されます。

登録を解除するには、登録済の音楽ファイルを選択し、もう一度 FAVORITE ボタンを押します。
⇒ファイル名の前の★が消えます。

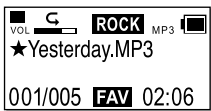
3. 電源を切ります。
⇒設定した内容が記録されます。

お知らせ

・お気に入りには 30 曲まで登録できます。これを超えると「FAV MAX LIMITATION」と表示され登録できなくなりますので、不要な登録を解除してください。
・電池が消耗しても登録情報が消えることはありません。

お気に入りの曲を再生する

1. ミュージックモードで、本機上面のFAVORITEボタンを押し続けます。

⇒FAV アイコンが表示され、お気に入りモードに切り替わります。
FAVリストの1曲目が表示されます。

2. ►II ボタンを押します。

⇒ 再生が開始されます。
登録した音楽ファイルだけが再生されます。再生順序は、フォルダーの上位階層から下位階層の順序になります。
I◄◄ ／ ►►I ボタンでの曲送りの順序も同様です。

● お気に入りモードを終了したい場合は、FAVORITEボタンを押し続けます。

⇒ミュージックモードの1曲目が表示されます。

お知らせ

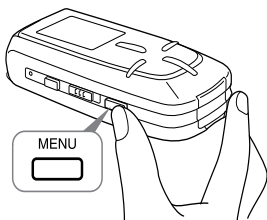
お気に入りモードで電源を切ると、電源を入れた時にお気に入りモードで立ち上がります。

第 5 章　音声を録音／再生する
(ボイスレコーディング)

5-1. 音声を録音する

内蔵マイクを使って音声を録音します。

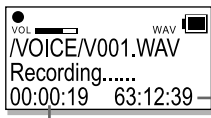
音声を録音するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、ボイス（ ）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押します。

⇒ボイスモードの画面が表示されます。

4. 「Recording……」と表示されるまで REC ボタンを押し続けます。

⇒録音が開始されます。
「VOICE」フォルダが自動的に作成され、録音されたデータは WAV ファイル（モノラル）として保存されます。
ファイル名は、録音した順番に「V001.WAV」、「V002.WAV」、「V003.WAV」、…と自動的に付けられます。

一時停止するには：[▶ ||] ボタンを押します。

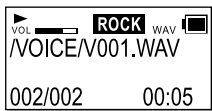
停止するには：[■] ボタンを押します。

お知らせ

- REC ボタンを押し続けた時に「バッテリーがありません」と表示された場合は、内蔵充電池を充電してください。
- 次のような場合、録音や再生操作がうまくできないことがあります。
  - 本機に保存されているファイル数が 550 ファイルを超えている場合
  - 本機のメモリ残容量が少ない場合

  このような場合は、不要なファイルを削除する（→ 80 ページ）か、パソコンにファイルを移動して、操作を実行できる容量を確保してください。
- マイク感度が高いため、本機に直接口を近づけて大きな声で録音すると、音がひずむことがあります。このような場合は、声を小さめにするか少し口を離して録音してください。
- 録音した音声ファイルは、USB 接続してパソコンにコピーすることができます。
  1. パソコン上でエクスプローラを起動します（→ 30 ページ 手順 1)。
  2. 本機を示すドライブ（一例として「JVC_XA(E:)」→ 31 ページ 手順 2）を選び、「VOICE」フォルダを表示します。
  3. コピーする音楽ファイルをクリックし、パソコンの任意の場所へドラッグ&ドロップします。
- 大人数の会議や音楽演奏の録音には適していません。

5-2. 録音した音声ファイルを再生する

録音した音声ファイルを再生するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. |◀◀ または ▶▶| ボタンを押し、ボイス（ ）を選択します。

3. ▶ II ボタンを押します。
⇒ボイスモードの画面が表示されます。

4. |◀◀ または ▶▶| ボタンを押し、再生したいファイルを選択します。

5. ▶ II ボタンを押します。
⇒再生が開始されます。
一時停止するには：▶ II ボタンを押します。
早送り / 早戻しするには：▶▶| / |◀◀
停止するには：■ ボタンを押します。

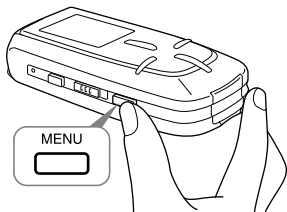
お知らせ

・ファイルが何も保存されていない場合は、「ファイルがありません」と表示されます。
・録音した音声ファイルを削除するには、ファイル削除モードを表示して行います。くわしくは、「6-2. ファイルを削除する」（→ 80 ページ）を参照してください。

第６章　さまざまな機能

6-1. 設定モードを利用する

メニュー画面で設定（ ）を選択することでさまざまな機能の設定をすることができます。設定モードの基本的な操作手順は、次のようになります。

1. **電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。**

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

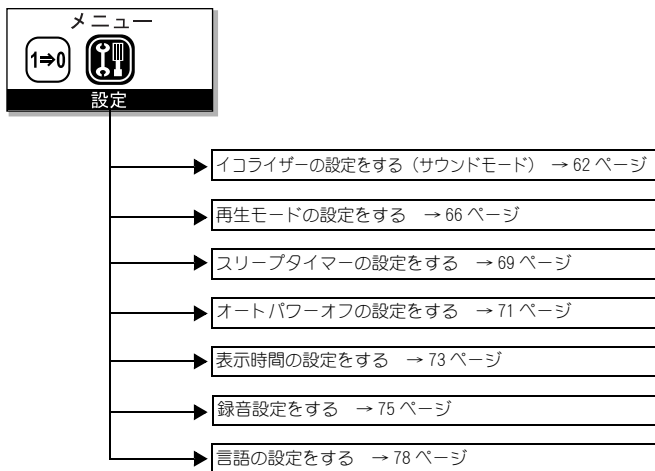
2. **|◀◀ または ▶▶| ボタンを押し、設定（ ）を選択します。**

3. **▶ II ボタンを押し、決定します。**

⇒設定メニューが表示されます。

4. **必要な設定を行います。**

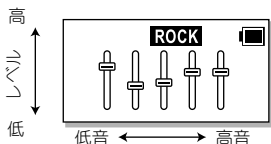
（くわしくは、62 ページ～ 79 ページをご覧ください。）

● 設定モードで設定できる項目

各設定のしかたについては、それぞれの説明ページをご覧ください。

お知らせ

本機で行った各種設定は電源を切るときに記録されます。設定値を変更したときは一度電源を切り、設定内容を記録してください。

EQ（サウンドモード）の設定をする

6 種類のサウンドモード、または自分で作成したカスタムサウンドモード（1 種類）の中からお好みのサウンドモードを 1 つ選択できます。

● お好みのサウンドモードを選択するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

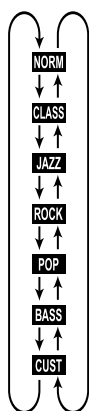
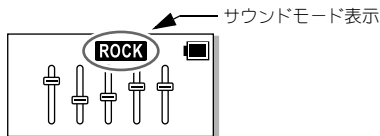
2. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、設定（ ）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒設定メニューが表示されます。

4. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、「EQ 設定」を選択します。

5. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

6. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、お好みのサウンドモードを選択します。

【サウンドモードの種類】

NORM	ノーマル	サウンドモードの効果はありません。
CLASS	クラシック	クラシック向きです。高音が少し落とされます。
JAZZ	ジャズ	ジャズ向きです。低音、高音が若干強調されます。
ROCK	ロック	ロック向きです。低音、高音が強調されます。
POP	ポップ	ポップ向きです。ボーカルのある中音域が強調されます。
BASS	バス	低音が強調されます。
CUST	カスタマイズ	ユーザーがお好みのサウンドモードを作成できます。

サウンドモードを自分で作成するときは「サウンドモードを自分で作成するには（カスタマイズ）」（→ 64 ページ）へ進んでください。

7. **[▶ II] ボタンを押し、決定します。**

⇒設定メニューに戻ります。

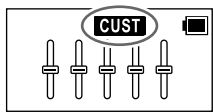
8. MENU ボタンを押すか、[|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押して「戻る」を選択し、[▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

9. 電源を切ります。

⇒設定した内容が記録されます。

● サウンドモードを自分で作成するには（カスタマイズ）

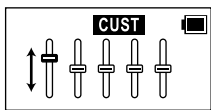
1. 「EQ 設定」画面で [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、「CUST」を選択します。

2. MENU ボタンを短く押します。

（長く押すと設定モードがキャンセルされ、メニュー画面に戻ります。）
⇒一番低音側のインジケータが強調表示されます。

3. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、編集する周波数を選択します。

4. [▶ II] ボタンを押し、編集する周波数を決定します。

⇒インジケータが点滅します。

5. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、レベルを設定します。

6. [▶ II] ボタンを押します。

⇒設定値が設定されます。

7. 設定が完了するまで、手順 3 ～ 6 を繰り返します。

8. 設定が完了したら、MENU ボタンを押します。

⇒インジケータの強調表示が消えます。

9. [▶ II] ボタンを押します。

⇒設定メニューに戻ります。

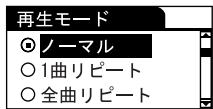
10. MENU ボタンを押すか、[|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

11. 電源を切ります。

⇒設定した内容が記録されます。

再生モードの設定をする

音楽ファイルをいろいろな方法で再生できます。

【再生モードの種類】

モード	ディスプレイ表示	内容
ノーマル	(表示なし)	選んだ曲の後に続く全ての曲を順に 1 回再生します。
1曲リピート	↻	1 曲を繰り返し再生します。
全曲リピート	↻ALL	全曲を繰り返し再生します。
フォルダリピート	□↻ALL	現在再生中の曲があるフォルダ内の全曲、または、ナビゲートモードで選んだ曲があるフォルダ内の全曲を繰り返し再生します。
ランダム	RND	全曲を順不同に再生します。
ランダムリピート	↻RND	全曲を順不同に繰り返し再生します。
フォルダランダムリピート	□↻RND	現在再生中の曲があるフォルダ内の全曲、または、ナビゲートモードで選んだ曲があるフォルダ内の全曲を順不同に繰り返し再生します。
イントロ再生	INT	各曲の出だし部分を 10 秒間だけ再生します。全曲のイントロ再生が終了すると表示が消え、モードが解除されます。

※ ボイスで作成したファイル(56 ページ)は、ノーマル、1曲リピート、全曲リピートの 3 モードからの選択になります。

※ お気に入りモードのときは、お気に入りに登録されている音楽ファイルのみが対象になります。

● 再生モードを選択するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、設定（🔧）を選択します。

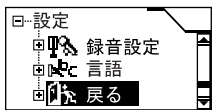
3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒設定メニューが表示されます。

4. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、「再生モード」を選択します。

5. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒再生モード一覧が表示されます。

6. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、再生モードの種類を選択します。

7. [▶ II] ボタンを押します。
⇒再生モードが設定され、設定メニューに戻ります。

8. MENU ボタンを押すか、[|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ ||] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

9. 電源を切ります。

⇒設定した内容が記録されます。

スリープタイマーの設定をする

音楽ファイルの再生中やダイレクトレコーディング中、スリープタイマーで設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。設定時間は 15 分、30 分、45 分、60 分、OFF です。工場出荷時は「OFF」に設定されています。

● スリープタイマーを設定するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、設定（[設定アイコン]）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒設定メニューが表示されます。

4. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、「スリープタイマー」を選択します。

5. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

6. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、時間を選択します。

7. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

⇒タイマー時間が設定され、設定メニューに戻ります。

8. MENU ボタンを押すか、[|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

お知らせ

- スリープタイマー設定は、1回動作するとキャンセルされます。
- スリープタイマー設定中は、ディスプレイ右上にアイコン（◷）が表示されます。

オートパワーオフの設定をする

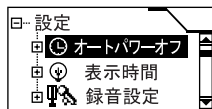
一定時間本機を操作しない場合、オートパワーオフで設定した時間が経過すると、本機の電源は自動的に切れます。設定時間は 2 分、5 分、10 分、OFF です。工場出荷時は「OFF」に設定されています。

● オートパワーオフを設定するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、設定（ ）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒設定メニューが表示されます。

4. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、「オートパワーオフ」を選択します。

5. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

6. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、時間を選択します。

7. [▶ II] ボタンを押します。

⇒オートパワーオフが設定され、設定メニューに戻ります。

8. MENU ボタンを押すか、[⏮] または [⏭] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

9. 電源を切ります。

⇒設定した内容が記録されます。

お知らせ

録音動作中（ダイレクトレコーディングやボイスレコーディング）は、オートパワーオフは動作しません。

表示時間の設定をする

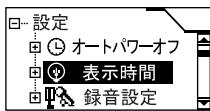
設定した時間、無操作状態が続くと、♫ が 5 秒に 1 回点滅するスクリーンセーバーが起動します。（再生中でも起動します。）
設定時間は 5 ～ 55 秒（5 秒単位）、Max（2 時間）です。工場出荷時は「30 秒」に設定されています。

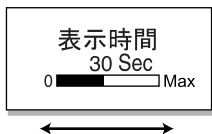
● 表示時間を設定するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、設定（）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒設定メニューが表示されます。

4. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、「表示時間」を選択します。

5. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

6. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、時間を選択します。

7. [▶ II] ボタンを押します。

⇒表示時間が設定され、設定メニューに戻ります。

8. MENU ボタンを押すか、[|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

9. 電源を切ります。

⇒設定した内容が記録されます。

お知らせ

ダイレクトレコーディング中はディスプレイの明るさを落としているため、スクリーンセーバーは起動しません。

録音設定をする

外部機器からの曲を録音（ダイレクトレコーディング）する場合のビットレート（→ 77 ページ）と A.TRK（オートトラック（→ 77 ページ））を設定します。

Source : LINE
Encode : MP3 Stereo
BitRate : 128kbps
A.TRK : ON

96kbps, 128kbps, 160kbps から選択します
ON または OFF を選択します

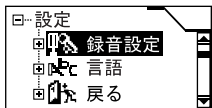
初期設定は、ビットレート「128kbps」、A.TRK「ON」となっています。設定を変更する場合は、本設定を行ってください。

● 録音設定をするには

1. **電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。**
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. **|◀◀ または ▶▶| ボタンを押し、設定（ ）を選択します。**

3. **▶ II ボタンを押し、決定します。**
⇒設定メニューが表示されます。

4. **|◀◀ または ▶▶| ボタンを押し、「録音設定」を選択します。**

5. **▶ II ボタンを押し、決定します。**

6. [▶▶|] ボタンを押し、設定したい項目を選択します。

[▶▶|] ボタンを押すごとに、BitRate ⇔ A.TRK と切り替わります。

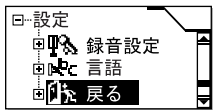
Source : LINE
Encode : MP3 Stereo
BitRate : 128kbps
A.TRK : ON

7. [▶ II] ボタンを押し、希望の設定値を選択します。

[▶ II] ボタンを押すごとに、設定値が切り替わります。

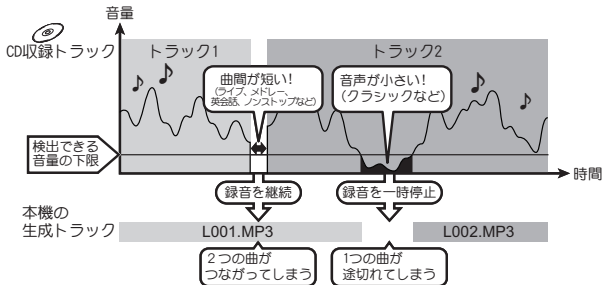
8. 設定が完了するまで、手順 6 ～ 7 を繰り返します。

9. 設定が完了したら、希望の設定値を表示した状態で MENU ボタンを押します。
⇒設定メニューに戻ります。

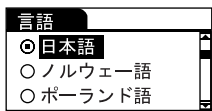
10. MENU ボタンを押すか、[|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

11. 電源を切ります。
⇒設定した内容が記録されます。

お知らせ

- ビットレートとは？
  データが 1 秒あたりどのくらいの情報量で表現されているかをあらわすものです。
  ビットレートが大きくなるほど高音質になりますが、データ量が大きくなるため、収録できる曲数は少なくなります。
- A.TRK（オートトラック）機能とは？
  ダイレクトレコーディングをするときに、各曲にトラック番号を振っていく機能です。
  ON ： 曲の始まりと終わりを自動的に検出し、曲ごとにトラック番号を振っていきます。再生時に CD のようなスピーディな選曲が可能となります。
  OFF： 曲の検出は行われず、無音状態になっても録音は停止しません。
- A.TRK（オートトラック）の注意事項
  無音部分や音の小さい部分が 3 秒以上続くと曲間と判断して区切るため、曲間が短い（ない）場合や、曲間に雑音（拍手や歓声などを含む）が多い場合は区切られないことがあります（故障ではありません）。また、音が小さい部分があると、無音と認識され、曲中でも区切られてしまうことがあります。

A.TRK 機能を正しく動作させるために、外部機器の出力レベルを適正に設定してください。くわしくは、「外部機器の出力レベルを調節する」（→ 38 ページ）をご覧ください。
それでも曲が意図しないところでつながったり途切れたりする場合には、A.TRK を OFF にして 1 曲ずつ録音してください。（ → 75 ページ）

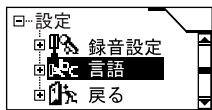
言語の設定をする

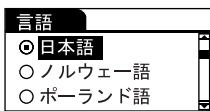
音楽ファイルの楽曲情報（ID3 タグ、WMA タグ）やメニュー表示で使われる言語を設定します。楽曲情報は 27 言語、メニューは 2 言語から選択できます（日本語以外を選択した時は、メニュー表示は英語となります）。工場出荷時は「日本語」に設定されています。

● 言語を設定するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。
⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

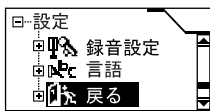
2. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、設定（ ）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。
⇒設定メニューが表示されます。

4. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、「言語」を選択します。

5. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

6. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、言語の種類を選択します。

7. [▶ II] ボタンを押します。

⇒言語が設定され、設定メニューに戻ります。

8. MENU ボタンを押すか、[⏮] または [⏭] ボタンを押して「戻る」を選択し [▶ II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

9. 電源を切ります。

⇒設定した内容が記録されます。

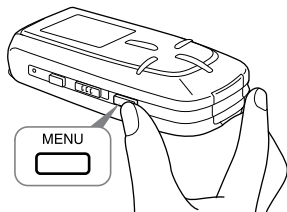
お知らせ

ID3 タグ、WMA タグについては、「4-1. 音楽ファイルを再生する」の「お知らせ」（→ 47 ページ）を参照してください。

6-2. ファイルを削除する

本機に転送および録音したファイルを削除するには、ファイル削除モードを使用します。

ファイルを削除するには

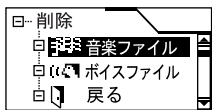
1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、ファイル削除（🗑）を選択します。

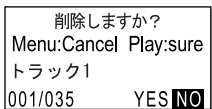
3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

⇒削除メニューが表示されます。

4. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、削除するファイルを選択します。

・パソコンから転送または外部録音モードで録音したファイル
　⇒「音楽ファイル」を選択します。
・ボイスモードで録音したファイル
　⇒「ボイスファイル」を選択します。

5. [►II] ボタンを押し、決定します。

6. [|◄◄] または [►►|] ボタンを押し、削除するファイルを選択します。

削除しますか?
Menu:Cancel Play:sure
トラック1
001/035 YES NO

7. [■] ボタンを押し、「YES」または「NO」を選択します。

[■] ボタンを押すごとに、YES ⇔ NO と切り替わります。

ファイルの削除をキャンセルする場合は「NO」を選択します。

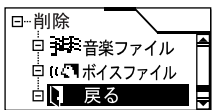
8. [►II] ボタンを押し、決定します。

⇒「削除しました」と表示されます。削除できないリードオンリーファイルの場合は、「オペレーション失敗」と表示されます。この場合は、USB 接続したパソコン側から削除してください。

9. 削除したいファイルの削除が完了するまで、手順6～8を繰り返します。

10. 削除が完了したら、本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒削除メニューに戻ります。

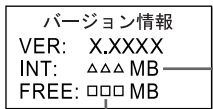
11. MENU ボタンを押すか、[|◄◄] または [►►|] ボタンを押して「戻る」を選択し [►II] ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

お知らせ

・フォルダ内のすべてのファイルを削除するとナビゲートモードでそのフォルダは表示されなくなりますが、本機内に記憶されたままとなります。
・フォルダは USB ケーブルで接続したパソコンから削除することができます。

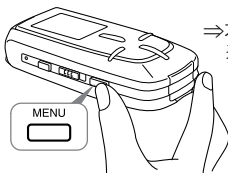
6-3. バージョン情報を確認する

本機のファームウェアバージョンとステータスを表示します。

バージョン情報
VER:　X.XXXX
INT:　△△△ MB
FREE: □□□ MB

INT：本体のメモリ総容量
※機種によって容量が異なります。

FREE：音楽ファイルの保存に使用可能なメモリ残容量

バージョン情報を表示するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [|◀◀] または [▶▶|] ボタンを押し、バージョン情報（ ）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

⇒バージョン情報が表示されます。

4. MENU ボタンを押します。

⇒メニューに戻ります。

● ファームウェアのバージョンアップ

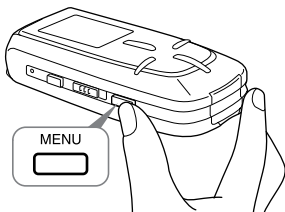
本機のファームウェアのバージョンアップ情報については弊社のホームページをご覧ください。

http://www.jvc-victor.co.jp/

6-4. 初期化をする

設定モード（「6-1. 設定モードを利用する」（→ 60 ページ～ 79 ページ）で設定したすべての内容を初期化します。（音楽ファイルとお気に入り登録の内容は消えません。）

設定を初期化するには

1. 電源が入った状態で本機下面の MENU ボタンを押します。

⇒本機の表示窓にメニューが表示されます。

2. [⏮] または [⏭] ボタンを押し、設定初期化（1⇒0）を選択します。

3. [▶ II] ボタンを押し、決定します。

4. [▶ II] ボタンを押し、設定の初期化を実行します。
初期化をキャンセルする場合は、本機の MENU ボタンを押します。

初期化しますか？
キャンセル :MENU
初期化 :PLAY

⇒「設定を初期化しました」と表示され、設定した内容がすべて初期化され、メニューに戻ります。

5. 電源を切ります。

⇒初期化によって以下の内容が工場出荷時の設定になり、記録されます。（音楽ファイルは消えません。）

設定項目	工場出荷時の設定
EQ 設定	ノーマル
再生モード	ノーマル
スリープタイマー	OFF
オートパワーオフ	OFF
表示時間	30 Sec
録音設定	BitRate:128kbps/A.TRK : ON
言語	日本語

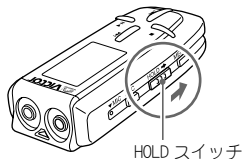
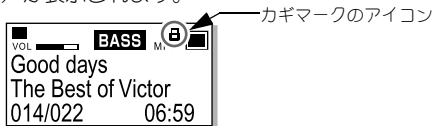
フォーマットするには

・本機にはフォーマット機能はありません。フォーマットする場合は USB 接続をして、パソコン側から行ってください。（エクスプローラで本機を示すドライブを右クリック→ [フォーマット]。FAT32 形式で実行してください。Windows Vista をお使いの場合は、[クイックフォーマット] を選んで実行してください。）音楽ファイルが消え、設定項目が工場出荷時の設定（上記）になり記録されます。
他のドライブを誤ってフォーマットしないように十分ご注意ください。

・WMA-DRM ファイルが本機に転送されている場合、フォーマットするときは事前にライセンスのバックアップをしておくことをお勧めします。
Windows Media Player 9 または 10 をお使いの場合：
必要に応じて Windows Media Player 上で、[ツール] → [ライセンスの管理] を選択し、バックアップ作業を行ってください。
（[変更] ボタンをクリックし、バックアップファイルの保存場所を選択し、[今すぐバックアップ] ボタンをクリックします。）
復元するときは、バックアップした保存場所を選択し、[今すぐ復元] ボタンをクリックします。
Windows Media Player 11 をお使いの場合：
ライセンス（メディア使用期限）のバックアップはできません。ただし、WMA-DRM ファイルの入手先によっては、インターネット経由で権限を復元できる場合があります。詳しくは、ファイルを購入したオンラインストアのサポート情報などを参照してください。

6-5. ボタンをロックする

HOLD 機能によりすべての操作ボタンをロックすることができます。

1. 本機側面の HOLD スイッチを矢印の方向にスライドします。

⇒すべての操作ボタンがロックされ、ディスプレイ右上にカギマークのアイコン（🔒）が表示されます。

2. ロックを解除するときは、HOLD スイッチを左にスライドします。

お知らせ

- ロックした状態で本機の電源を入れると、初期メッセージ「DIGITAL AUDIO PLAYER」に続いて「HOLD」が表示され、電源が自動的に切れます。その場合、HOLD スイッチを左にスライドしてロックを解除してからお使いください。
- スクリーンセーバー（→ 73 ページ）の起動中はカギマークは ♫ と同時に点滅します。このときなにかのボタンを押すとカギマークと ♫ が同時に点灯します。

第７章　お問い合わせ・
アフターサービス

7-1. お困りのときは

故障かな?と思ったら、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。

1. 本書で調べる

この「お困りのときは」をチェックし、該当する項目を調べます。また、別紙の『デジタルオーディオプレーヤークイックガイド』にも、さまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2. ビクターホームページで調べる

http://www.victor.co.jp/ で調べます。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

3. それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター(→ 96 ページ)またはお買い上げ店にご相談ください。

こんなときは	次の点を確認してください
動作しない	・HOLD スイッチはOFF になっていますか。(→ 85 ページ) ・充電池が消耗している場合があります。本機を充電してください。 ・先の細いもの(ピンやまっすぐに伸ばしたペーパークリップなど)で本体背面のリセットスイッチを押して電源を切り、再度電源を入れてください。(保存されている音楽ファイルや設定内容は消えません。)
音が出ない(雑音が多い)	・ヘッドホンが本機に確実に差し込まれていますか。 ・ヘッドホンのプラグが汚れていませんか。 ・携帯電話やテレビなどの装置から離れた場所でお使いください。 ・音量を上げてください。

こんなときは	次の点を確認してください
自動的に電源が切れる	・オートパワーオフ機能が設定されています。(「オートパワーオフの設定をする」→ 71 ページ)(故障ではありません。)
外部機器のヘッドホン端子からダイレクトレコーディングをしたら再生音が小さい	・再生する外部機器側の音量を上げてください。(「外部機器のヘッドホン端子から録音するときの注意」→ 39 ページ)
転送後、曲順がばらばらになってしまう	・音楽ファイルの先頭に半角入力で 01、02・・・などと数字をつけると並び替えができます。(「2-3. 音楽ファイルの再生順序を変更するには」→ 34 ページ)
転送後、本機上に複数のアルバムの1曲目同士、2曲目同士が並んでしまう(アルバムAの1曲目→アルバムBの1曲目→アルバムAの2曲目→アルバムBの2曲目→・・・・)	・アルバムタイトルやアーティスト名のフォルダが作られるようにパソコン側を設定してください。「デバイスにフォルダ階層を作成する(C)」にチェックを入れます(別紙クイックガイド→ 18 ページ)。フォルダ数が増えるので、50 個を超えないようにご注意ください。
仕様どおりの曲数が入らない	・音楽ファイルの形式やビットレート、曲の長さにより収録可能曲数は大きく変わります。
メモリ容量に充分空きがあるのに転送した曲が認識できない	・転送によりフォルダ数などの制限を超えると容量に空きがあってもそれ以上は転送できません。(「ミュージックモードでの再生順序について」→ 50 ページ)
「Driver error! Please format! 」というメッセージが表示された	・パソコンに接続し、本機をフォーマットしてください。(「フォーマットするには」→ 84 ページ) ・パソコンをお持ちでない場合は、サービス窓口にご相談ください。

こんなときは	次の点を確認してください
Windows Media Player のバージョンが古い	・Microsoft 社のホームページから、9、10、11 のいずれかのバージョンをダウンロードしてください。
CD からパソコンに音楽を取り込んだが、アルバムタイトルやアーティスト名が表示されない	・インターネットに正しく接続されていますか。 ・CD によっては、アルバム情報が表示されないことがあります。（別紙クイックガイド→ 6 ページ、14 ページ）
「DRM　PROTECTED」というメッセージが表示された	・WMA-DRM ファイルをドラッグ＆ドロップで転送すると再生時に表示されます。 ・Windows Media Player9 または 10 を用いて転送してください。

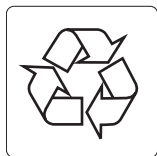
※上記にない状況の場合は、弊社のホームページも併せてご覧ください。
http://www.victor.co.jp/

メッセージ一覧

Driver error! Please format!	ファイルシステムのエラーです。→ 89 ページ
オペレーション 失敗	リードオンリー（読み出し専用）ファイルを削除しようとすると表示されます。パソコンと接続し読み出し専用を解除してください。 パソコン側から削除してください。
FAV MAX LIMITATION	お気に入り登録について 30 曲を超えて登録しようとすると表示されます。→ 52 ページ
DRM PROTECTED	WMA-DRM ファイルをドラッグ＆ドロップ転送すると再生時に表示されます。→ 47 ページ
ﾌｧｲﾙがありません	本機にファイルがない時に表示されます。
> HOLD <	HOLD スイッチが入り本機がロックされています。解除するには HOLD スイッチを操作してください。 → 85 ページ

表示	内容
バッテリーが ありません Low Battery Shut Down ...	充電池容量がありません。本機を充電してください。 → 23 ページ
お気に入りが 登録されていません	FAVORITE ボタンを押してミュージックモードにしてください。 → 53 ページ
ディスク フル	記録容量がありません。不要なファイルを削除するなどしてください。
OVER FOLDER	フォルダ数が 50 個を超えています。 フォルダを整理して 50 個以下にしてください。 フォルダ数を減らす方法については、ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp）から製品 Q&A のページをご参照ください。
FULL FILE	ダイレクトレコーディング、ボイスレコーディングのファイル番号が末尾になっています。USB 接続したパソコン側からファイル名を変更するなどしてください。→ 41 ページ
TEMP OVER	充電時に周囲温度が高すぎるか低すぎる時、または充電池に異常がある時に表示されます。 充電は周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の所で行ってください。 周囲の温度が上記の範囲内の時は、充電池の異常が考えられます。このような時は、ビクターサービス窓口にご相談ください（別紙「ビクターサービス窓口案内」参照）。

7-2. 本機を廃棄するときのご注意

本機に内蔵されている充電池はリサイクルできます。
充電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。
本機を廃棄するときは、ビクターサービス窓口にご相談ください（別紙「ビクターサービス窓口案内」参照）。

Li-ion

7-3. 仕様

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

モデル名	XA-S108	XA-S208
形式	デジタルオーディオプレーヤー	
内蔵メモリサイズ	1 GB	2 GB
ディスプレイ	有機 EL ディスプレイ	
ダイレクト録音	MP3 方式	
ボイス録音	ADPCM 方式、内蔵モノラルマイク	
音楽再生フォーマット	MP3/WMA/WMA-DRM9 *1	
ビットレート	MP3：8 kbps ～ 320 kbps 、 WMA：32 kbps ～ 192 kbps	
最大収録曲数 *2	550 曲	
周波数特性	60 Hz ～ 20 kHz、+ 0 dB ～ － 3 dB（オーディオ）	
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック× 1）	
入力端子	LINE IN（ステレオミニジャック× 1）	
実用最大出力	ヘッドホン 6.5 mW ＋ 6.5 mW （32 Ω）	
電源	内蔵充電式リチウムイオン電池	
連続再生時間	約 20 時間（オーディオ再生）*3、約 6 時間 *4（ダイレクトレコーディング時）	
本体寸法	約幅 32 ｍｍ × 高さ 77 ｍｍ × 奥行 18 ｍｍ（突起部含まず）	
質量	約 37 g	

*1 デジタルデータの著作権を保護するため複製に制限のかけられた WMA ファイルです。

*2 本機で取り扱える最大曲数です。短い曲など音楽ファイルのデータサイズが小さくても、最大収録曲数は変わりません。ビットレートと収録曲数の目安については 27 ページを参照してください。

*3 条件：MP3（128 kbps、fs=44.1 kHz）ファイル再生、EQ（イコライザー）：ノーマル、ディスプレイ表示時間 30 秒で再生した場合

*4 条件：ビットレート 128 kbps で録音した場合

■ 対応 OS

Windows®Me 、Windows®2000、Windows®XP、Windows®Vista

7-4. 保証書とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書	補修用性能部品の最低保有期間
所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日より１年間です。	製造打ち切り後６年です。 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

・お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
・お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
③お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理の依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
別紙の「ビクターサービス窓口案内」 をご覧ください。	フリーダイヤル **0120−2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 （045）450−8950 FAX（045）450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

・ ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、95ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
本書は、本書記載内容で、無料修理または本体部の交換を行なうことをお約束するものです。
保証対象はハードウエアのみでソフトウエアは含みません。
本製品使用時に利用されるパソコン、ハードウエア、その他関連システムなどに起因する互換性の問題は保証の範囲に入りません。
この製品を使用したため、または使用できなかったためにいかなる損害が発生しても保証の範囲に入りません。
何らかの理由により、修理または該当製品と同等の製品に交換できない場合、お客様のご希望を確認の上、その後継機種との交換を持ってこれに換える場合があります。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際弊社の判断で再生部品を用いる場合があります。修理に出す前に、メモリ内のデータはお客様にてバックアップをしてください。また、本製品およびパソコンの不具合、誤使用によりデータが破損または消去された場合、データ内容およびそれに伴う一切の補償はできません。
商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。

2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
（1）本書のご提示がない場合。
（2）本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
（3）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（4）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
（5）火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷。
（6）不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
（7）一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用および車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
（8）消耗品（内蔵充電池など）の消耗。
（9）持込み修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
（10）不注意、許可なしに行なった修正 / 改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。

4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター㈱およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="3">型名　XA-S108-A/-P/-R/-S/-W
XA-S208-A/-P/-R/-S/-W</td><td colspan="2">製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td>お名前</td><td colspan="3">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">□□□-□□□□　電話（　）　－</td></tr>
<tr><td colspan="3">お買い上げ年月日
年　月　日</td><td>保証期間</td><td>お買い上げ日から
本体　1年間</td></tr>
<tr><td colspan="5">お買い上げ店　住所・店名・電話</td></tr>
</table>

お客様へのお願い：

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認出来る書類（シールやレシート等）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。
3. ご転移の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。